

## グループホーム森の家2階

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に 基づく 運営	1 理念の 共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく、尊厳のある生活をして頂く為には地域に開かれた、根差した施設である事が必須であると考え。スタッフには、個性を尊重し、その人らしさを生かして関わるよう常時声かけをおこなっている。又、理念を明確化し、事業計画を立案し、常に観覧する事が出来る様、設置している。	1	より、その人らしく暮らしていくことが出来る様、地域資源を活用すると共に、地域の方とのふれあいや、活躍できる場面作りを今後も継続していく。
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を具現化し、検討を重ね、職員全員で、実現に取り組んでいる。生きる力を高める努力には、特に力を入れている。アクティビティを通して、ご本人の生きる力を高める事が出来る様な関わりをもち、日々努力している事が、職員の理念への意識付けにも繋がっている。	1	更に新人職員への理念浸透の為、日々の場面の中で教育し実践に反映させる力を持った職員を育成していくよう努力している。
	3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議での現況報告、また地域の人や家族の行事参加などの交流の中で入居者の暮らしの様子をみて頂き、地域で安心して暮らせる取り組みの実践を理解して頂く機会を設けている。「森の家便り」を定期発行し、町内会、老人会、市民センターなどに配布し発信している。	1	入居者のご家族へ、理解を深めて行く事で、家族を通して、地域とのつながりも持てるような関係作りにも努めていきたい。イベントなどもご家族や、地域の方と共に企画し、行っていきたい。	
	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	3		
	2 地域 との 支え 合い	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方が散歩したり、入りやすい環境作りが心にかけている。近所の方が立ち寄り、入居者と会話したり、ビデオを持参され、一緒に鑑賞したり、将棋を楽しまれたりとホームがお互いの楽しみの場になって来ている。又、イベントのたびにチラシを配布したり、参加を呼びかけている。現在はいろいろな行事に参加していただける事も多くなっている。	1	今後も地域とのつながりを大切にし、日頃の近隣の方との交流が、入居者の方の活動の場が広がるきっかけとなるような関係作りを継続して行きたい。又、行事への参加協力を呼びかけ、より多くの方にホームを知って頂き、今後も、地域に開かれ、根差した施設として、存在していけるような取り組みを行って行きたい。
5 外部 評価 3		<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や地域行事への参加は定期的に行っている。1年間を通じた菊作りや認知症啓発の機会を地域に向け、取り組んできている。町内の掃除や花壇作りにも参加している。地域の方の協力もあって カローリング大会も毎月開催できるようになった。	1	上記の内容と同様に、今後も地域とのつながりを大切にし、日頃からのあいさつや、行事への参加協力を呼びかけていきたい。今年も、「もりフォーラム」や様々な機会を設け、施設の特徴を活かした認知症への啓発活動にも取り組んでいきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え域 合 との	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域密着型介護サービス事業者として北九州市が指定を行う事業の取り組みに賛同し、認知症サポーター養成講座や、キャラバンメイトの資格取得。又、サービスの質の確保の為、相談員派遣事業を受け入れている。市町村と共に、認知症の啓発への取り組みを共同で行っている。もりフォーラムでは、認知症の方とサポーターとの良い関係作りがなされる様、「私たちサポーターが出来るちょっと一緒にへ」、を啓発する予定である。	1	今後も共にイベントに取り組んだり、啓発に取り組んでいく予定である。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理念を 実践 する た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自分たちが行っているサービスを評価し、客観的に検証する良い機会となっている。また評価結果を通し、ケアを行っていく上での、力づけにもなっている。現在のサービス内容を細かくチェックする機会ともなり、サービス向上へのよい動機付けとなっている。指摘箇所の見直しだけに止まらず、気づきを、日頃のサービスに生かして行ける様努めている。又、年度目標の確認のためにも、役立っている。	1	自己評価を自己確認の機会とし、外部評価を通し、自分たちの行っているサービスの点検を重ね、自己研鑽に励んでいきたいと思う。より良いサービスとは何かをつかんでいく機会とする。
		8 外部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中では、現在ホームで行っている活動の報告や、入居者の日頃の生活の状況を知らせたり、行事を通して感じてもらう機会を提供している。参加者の方からの意見を参考に、より、地域に貢献する施設となっていける様努めている。	1	運営推進会議の内容について、今後も検討を重ね、より地域に根差した施設となって行けるよう努めていく。又、会議で出たご意見や課題について具体的に取り組んでいきたい。
		9 外部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型介護サービス事業者として北九州市が指定を行う事業の取り組みに賛同し、サービスの質の確保の為、介護サービス相談員派遣事業を受け入れている。もりフォーラムを通して市町村と共に、認知症の啓発への取り組みを共同で行っている。その他に、協議会の各ブロック長と県市町村の介護保険担当者との情報交流会に参加し意見交換を行った。	1	今後も共にイベントに取り組んだり、啓発に取り組んでいく予定である。
		10 外部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度研修は必須の研修として位置づけ、全員で制度の仕組みを周知出来る様に努めている。他にも、人権に関する研修を実施し、知識や意識を高める取り組みを行っている。言葉かけの中に、不用意な発言がないか、自由な環境が提供出来ているかなど、常にスタッフ同士意見交換しながら確認し合っている。	1	今後も入居者の権利に関する知識を高めていく事が求められる。研修にも積極的に参加し、学びを深めていくよう計画している。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	先にあげた権利擁護を学ぶと共に、現在問題ともなっている高齢者虐待についても、学びを深めていく必要があり、現在権利擁護・リスクマネジメント・虐待についての研修を行い理解・啓発に努めている。	1	日常の何気ない場面での、自分の姿の見極めは常に怠らずに、対応していきたい。また、研修の機会も設けていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7		
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や入居の際の説明は、管理者2人1組となっており、疑問点など遠慮なく聞ける機会を作っている。受診の際の付き添いやターミナルに向けてのご家族への検討依頼・また家族の存在の大切さなどを伝え、ご家族の入居に対する不安感なども傾聴しつつ、十分な理解が得られるよう、説明を行っている。	1	今後も家族との信頼関係を築いていくためにも、個々の立場にたった説明や、配慮を行ってきたい。
			13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護サービス相談員が2ヶ月に1回入り、入居者に、現在のサービスについて外部者と話す機会を設けている。また、スタッフも機会があるごとに、入居者の気持ちや要望を聞き取る努力を行っている。自分で自分の思いを表現できない方もおられるので、常に気持ちを察する職員側の姿勢や、家族を通して把握したりしている。	1	利用者の思いや不満・苦情などについては、聞き取る努力をしていかないと、なかなか表出しにくい問題であるので、より注意を払いながら、運営に反映するよう関わっていく。
			14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の状況や環境に合わせて、対応を変えている。面会時にご家族の方に入居者の情報交換を行う事はもちろんのこと、心身共に何らかの気づきが見られた場合はご家族に一報するようにしている。又、ノートで連絡事項をお知らせする場合や、電話で近況報告をさせて頂くこともある。金銭の報告も小まめに行い確認印を頂いている。月に一度は個人別に写真を載せたお便りをお渡しし、活動報告や、エピソード等もお伝えしている。	1	今後も、家族と共に入居者を支え合える関係作りや、取り組みを継続して行きたい。
			15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内にご意見箱を設置し、家族からの意見を伺う。また直接お聞きすることもある。早急にスタッフ間で話し合い、家族に回答しサービス改善を行う。また直接話しにくい場合も、ノートなどを通して意見を聞く機会を作っている。家族会時などにも意見を伺う機会がある。また、行事でお会いするときなどにも、何気なくお聞きする機会を設けている。	1	今後も細かい要望や苦情にも、しっかり耳を傾け、答えていく姿勢を持ち続けていく。要望や苦情は、サービス向上にあたり、貴重なものとして前向きに活かされて行ける様な取り組みを行って行きたい。スタッフの通信の中や、交換ノートを使って、あらゆる機会を利用して、意見を伺う姿勢で努力していく。
			16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1度グループホーム全体会議を実施し、施設の新しい取り組みや、現状など職員全員が周知出来るよう勤めている。又、フロアスタッフ会議の中や職員間でも、率直な職員の意見を出し合える環境作りがサービス向上に繋がっていくものと考えている。又、職員間での連絡ノートを設置し、話し合われた内容や、相談などがスタッフ間で周知出来るよう努めている。	1	施設を運営していく上で、スタッフの意見の反映は重要である。あらゆる機会を通じて、情報把握に努めていく必要がある。また、画期的なアイデアが出される場合も多いので、スタッフ会議等を用いて、積極的にスタッフの意見を反映させていく。
			17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じた体制が取れるよう、利用者の変化がどのように生じ、どの部分に人員が必要であるかなど、職員と話し合い、勤務体制を調整している。スタッフ数を多くしたり、行事の時や、家族との話し合いや状況に応じて勤務体制を柔軟に検討している。3ユニットある利点を生かし合同企画を行ったり、応援体制を作ったりして、お互いにシフトの上でも協力している。	1	状況や環境の変化に合わせて、勤務を柔軟に組み合わせられていく。今後、入居者が重度化していくことにも備え、ますます、勤務に対する柔軟性が求められていくことと思われる。



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日頃からスタッフとのコミュニケーションをしっかりと、管理者を通し、状況を把握する。スタッフの移動は極力少なくし、馴染みの関係で関わられるようにしている。やむおえず、離職になった場合も、引継ぎ期間を十分とり、細かく申し送りをして、ダメージが最小限になるよう、配慮している。	1	今後もスタッフの思いを吸い上げる努力をし、離職のないように職場環境を整えていく。
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	5	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用募集にあたっては、性別や年齢を理由に採用対象から排除することはない。又、差別なく安心して働ける職場環境を整えている。職員については、管理者とスタッフ間で話し合い、委員会活動や、アクティビティ活動等、担当を決め、個々の得意分野を活かし、活躍していけるよう取り組んでいる。又、新人スタッフの育成に関しては、教育係りを配置し、きめ細かい指導や、相談しやすい環境を作っている。	1	今後も差別や偏見のない職員の募集や、採用に努めるとともに、職員の働きやすい環境づくりに努めていきたい。
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者の人権を守る姿勢は、介護をする上での大切なルールであることを踏まえ、人権を理解する為、研修を実施し、自分たちの姿を繰り返し見直す機会を作っている。人権に対する認識を深めていく事で、人を尊重する事とは、また本人の思いを傾聴するとは何だろうかという意識を高める場となっている。	1	今後も人権に対する意識向上に努めると共に、認知症を正しく理解してもらう為の取り組みも行っていきたい。
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は、サービス向上委員会を中心に年間計画を立て実施している。グループホーム協議会研修やその他の法人研修についても、積極的に参加し、その都度、他の職員にも、内容報告をしている。参加は、パート・正職の差別はない。新人スタッフには、教育係を配置し、3ヶ月毎に自己評価を付けることによって、具体的に理解出来ているところも明確になり又、不十分な所も丁寧に指導する事が出来ている。	1	全職員は、年2回自己評価表記入にて、自己を振り返る機会とし、管理者は一人一人の助言育成に関わっている。
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協議会、福岡県高齢者グループホーム協議会に加入しており、他のグループホームと交流しながら、現状の課題や悩みを話し合う機会がある。	1	福岡県グループホーム協議会では、県全体と北九州ブロックの研修がとても盛んで、質の向上に繋がっている。年1回の実践報告会での発表も職員の意識向上に繋がっている。
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩場所は、利用者と離れ、スタッフルームにて休憩している。入居者に質の良いサービスを行う為には、職員同士の連携やチームワークの良さが影響する。	1	利用者についての介護相談は、毎朝の申し送り、カンファレンス以外にも、いつでも話し合えるようにしており、一人でかかえこまないように配慮している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	健康診断は定期的実施している。体調不良時には、併設病院にて受診、治療代は法人が負担している。また、就業規則があり、職員の労働基準は守られている。	1	各委員会（サービス向上委員会・感染委員会・アクティビティ・園芸）があり、責任を持って、各々が積極的に取り組んでいる。又自分たちの取り組みをまとめ、早期認知症学会やグループホーム協議会実践報告会等、毎年発表し、意識の向上を図っている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	4	
	1 相談から 利用に至る までの 関係づくり とその 対応	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居自体が本人にとって、環境の変化を伴い、ストレスを感じるものなので、こまめにコミュニケーションをとりながら、聞き取りをしている。信頼関係がない時なので、慎重に対応している。言葉や態度の行き違いがないよう配慮して関わる。また、家族の協力も要請し共に重点的に本人の気持ちを支えていくよう取り組んでいる。	1	入居の受け入れについては、今後も書類や対応についての工夫をしていく中で、対応策を検討していく。今後も本人の不安軽減に努めていく。
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居してからのご本人の状態を、細かく報告するようにしている。家族にとっても、ストレスを感じる時なので、気持ちを受け止める関わりをもっている。ご家族の性格や生活背景なども把握に努めている。	1	左記の対応を細かい配慮で行い、信頼関係を強くしていく。
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学に来られた際に、基本的には管理者が対応し、ご家族のお話をよく傾聴し、ご本人にとって何が必要であるかを把握する。場合によっては病状の判断や利用の時期を待って、デイサービスを紹介する場合もある。また、緊急性のあるご家族には他サービスの紹介も行っている。	1	相談については、よく話を傾聴し、問題の原因また、内容を正しく把握する事に努め、誠実に対応していく。本人を支援していく上で、他職種の協力も仰いでいく。
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験利用や見学も実施し、本人の性格やニーズに合った対応を心がけている。認知症の高齢者の方が、馴染むには時間を要するため、家族のこまめな面会を呼びかけたり、工夫を重ねている。また、併設のデイサービスを利用しながら、徐々に移行しながら、サービス開始になるケースもある。	1	本人にとって、安心できる居場所づくりのためにも、入居から慣れていくまでの経過は大切な過程である。そのことを踏まえ特に準備が必要な年長者に対しては、まず、デイサービスの利用を勧めたり、その方に合った対応を模索していく。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価 6項目・外部評価 1項目	6	
係 続 と こ れ ま で の 支 援 関 係 づ く り	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人と人との関係として、学ばせてもらっている姿勢と、共に喜んだり、泣いたり、支えあう関係を構築していくよう、心がけている。入居者の方の苦労話を聞く中で、生き方を学んだり、生活の知恵や食事の味付けを教えてもらうこともある一方、職員の子育て中の悩みや喜びをお話すると、一緒に泣いて下さったり、的確なアドバイスをくださいます。	1	今後も共に喜んだり、泣いたり支え合う関係作りを継続して行きたい。入居者の方から、モジュール信号を教えて頂く一方、職員がパソコンを教えている場面もある。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人を支えていく際、日頃の状態は職員からご家族へこまめにお伝えし、又、ご家族の知っているご本人の情報をお聞きする等、情報を共有しながらご本人のプランと一緒に考え、共に支えている。	1	ご家族から、入居者、職員の誕生日に自分に来ることで携わりたいと希望され、「エレクトーン演奏のプレゼントをしたい。」と企画を頂いている。今後ご家族、職員と共に、本人の支援に携わって行く関係作りを目指します。
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人とご家族の関係を良く理解した上で、どのように関係作りを行っていくか検討している。ご家族との良い関係が、本人の生活を支援する上で、要となっていくと思われる為、家族と本人の話をしっかり傾聴し、関係を築きあげている。	1	家族と共に過ごしている時の本人の様子は、家族とは何にも変えがたいものだと思う事がよくある。家族が本人を支えることの意義を伝え、良好な関係を続けて頂き共に安心してホームでの暮らしが継続できるよう支援していきたい。
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との交流が途切れないように、年末年始のお便りや、暑中お見舞いを差し出したり、絵手紙や、電話で、連絡をとりあったり、実際に、入居者の以前の馴染みの場所に出掛けた事もある。	1	馴染みの関係を継続して行くことで、環境の変化に伴うダメージも軽減され、穏やかな生活が継続されるような取り組みをして行きたいと思えます。
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は、個々の入居者間の人間関係や個性を知り、個人が持っている調整力や、助け合う力を十分発揮して頂けるよう観察力を身に付け、又、気づきを申し送りノートに記入し、全職員が情報を共有し意見交換出来るようにしている。情報共有する事で孤立を防いだり、個性を活かして場の力を高める事や、入居者同士の力を引き出せるように努めている。	1	今後も入居者の個性を活かした、入居者同士の間人間関係力や、場の力を活かした取り組みを継続したいと思います。
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了した後も、誕生日に面会に行ったり、家族の方が遊びにきて下さったりと交流がなされている。その際、新しい生活の話であったり、ご家族の悩みを聞く機会となっている。	1	必要な事があれば誠意を持って援助していく。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	バックグラウンドシートの記入をご家族の協力のもとで行い、ご本人、ご家族と相談しながら、ご本人に合った生活を検討している。日頃の状態は職員からご家族へこまめにお伝えし、又、ご家族の知っているご本人の情報をお聞きする等、情報を共有しながらご本人のプランと一緒に考え、共に支えている。	1	ご本人の言葉にならない思いを、職員の主観的な判断で捕らえる事がないように、寄り添い、本人の思いに近づいていけるよう努めて行きたい。	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドシートや個別特性シートで過去の生活の様子や好むこと等把握しその方が馴染みの大切にしていることを守りながら、生活できるよう支援している。	1	入居後数年経過しても会話の中から新しい情報が得られ思いがけない時があったり、珍しい来客から得ることもあり、寄り添いながらも新鮮な意識を無くさず接していく事が大切である。
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人が持っている力を十分に発揮して頂けるよう職員は観察力や柔軟性を養い、気づきを申し送りノートに記入し、全職員が情報を共有し意見交換できるようにしている。断片的な情報に捉われず、総合的に本人の状態を把握する事が出来ている。	1	今後も、広い視野で入居者の生活を総合的に把握していける様努めて行きたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人が、より良い暮らしを継続出来る様、職員は柔軟な視点を常に持ち、本人の言動は基より表情や、非言語的な所からもご本人らしさを感じとり、日頃の状態は職員からご家族へこまめにお伝えし、情報交換しながら本人のプランと一緒に考え、共に支えている。	1	ご本人の言葉にならない思いを、職員の主観的な判断で捕らえる事がないように、寄り添い、本人の思いに近づいていけるよう努めて行きたい。又、ご家族と共に、ご本人を支えて行ける様努めて行く。
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に見直し、状況の変化に応じて随時、ご家族、ご本人と共に話し合いながら計画を立てている。より細かく、実践に活かした計画になるよう、管理者、職員と検討を重ね、現在新書式にて計画を立てている。医療、ADL、生活全般に関して以前より、具体的で、ご本人らしく暮らし続けるような計画が立てられるようになった	1	今後も、状況の変化に伴い、介護計画をご家族、ご本人と共に見直し、よりご本人の望む暮らしが継続出来るように努めて行きたい。
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	医療的内容は、看護介護記録に記録し、日中の活動内容は、生活活動記録に具体的に記録し、介護計画の見直しや、ご本人の気づきに繋がっている。気づきを申し送りノートに記入し、全職員が情報を共有し意見交換できるようにしている。情報共有することで、断片的な情報に捉われず、総合的に本人の状態を把握する事が出来ている。	1	介護計画に添った記録、又計画を見直す上で十分活用出来る記録とする事を、意識した個別記録を記載し、全職員が考える力をつけていくよう取り組んでいく。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携により週1回訪問看護師による健康チェックを行い意見をもち合っている。認知症高齢者の特色と家族の背景や状況を踏まえたうえで適切な看護処置が提供出来るよう対応している。日頃のちょっとした医療行為や看護面も気楽に相談できる関係を築いている。	1	重度化や、終末期のあり方が、ご本人、ご家族にとって後悔の無い、穏やかなものとなる様、事前、あるいはその時々で、ご家族、医療従事者を含めた話し合いが出来る様、連携体制をしっかりと確立させて行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通じ、意見交換の機会を設けている。又、消防とは、防災訓練や、救急救命の研修時に、関わる機会を持っている。施設内のイベントに参加されたり、小学生訪問や、幼稚園の昼食会に参加されたりと、交流する機会があり、地域資源と協働しながら、支援している。	1	今後も地域資源の掘り起こしに努め、あらゆる機関を利用しながら、又、地域資源に入居者の持つ力を貢献して行ける様努めて行きたい。
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の必要に応じて、理美容サービスや、福祉用具専門員によるADLに応じた生活支援用具の相談を受けている。また、ボランティアによるアニマルセラピーや、行事の協力要請もしている。	1	本人が求める他のサービスの把握に努め、活用の広がりを進めていく。
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席して頂き、取り組みを紹介したり、意見交換する機会がある。その中で、包括支援センター内の処遇困難なケースもお聞きし、それに伴う活発な意見交換もなされた。地域で認知症の方を支援して行くために、認知症サポーター、キャラバンメイト、施設が出来る取り組みについて話し合った。	1	地域の認知症高齢者を支えるネットワーク作りの中で、グループホームが、どのような活動が求められ、それを具体化していく為に何をしていくのかを模索していく。
		45 外部評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際にお本人ご家族の意向によって主治医を検討している協力病院が隣接してある為急変時にはいつでも対応できる体制がある。日頃の状態をご家族にお伝えし受診に付き添って頂く事で状態を把握して頂いている。伝達した内容と診察結果等は細かく記録し訪問看護師による健康チェックに繋げ関わる全員が情報を共有出来る様にしている。	1	かかりつけ医と連携しながら、必要に応じ他科受診を行う事もある。今後も症状に応じ適した医療提供が迅速に行えるよう支援していく。
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の中に物忘れ外来があり、知見の深い専門医による適切な薬の処方や、生活面での関わりなど助言をもらえるようになっている。	1	日頃の生活の中から症状の変化等細かく記録し、専門医に情報の提供が出来る様に努めて行く。
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	24時間医療連携体制により訪問看護師と契約している。週1回の訪問がある。夜間の相談や、訪問にも応じてもらっている。いつでも医療や、栄養などの相談ができる体制があり、必要時には、処置や、点滴など医師との連携により行う。	1	かかりつけ医と連携しながら、必要に応じ、他科受診を行うこともある。今後も症状に応じ適した医療提供が迅速に行えるよう支援して行く。



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	疾患等で入院を余儀なくされた場合、環境の変化に伴う問題を最小限に留める為、医師やご家族と密に話し合い早期に住み慣れたホームで生活が再開できるような取り組みをしている。	1	ホームでの生活がいかに本人の生きる力を高めるかを認識し、今後も経験を活かして行きたい。
		49	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	管理者会議や全体会議の中でも、施設で対応できる事、出来ない事を話し合う機会を持ちながら、今後の変化に備え検討を重ねている。個々の状況に合わせて、柔軟に対応出来る様に検討していく。	1	家族にとっては入居者本人の心身の状態はもちろん、ご自身の家族の事情や心身の状態によっても意向が揺れ動く事もあると思われる。その都度方針の確認を行いながら関係者、皆で最善の方向性を見出す努力をしていく。
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	管理者会議や全体会議の中でも、施設で対応できる事、出来ない事を話し合う機会を持ちながら、今後の変化に備え検討を重ねている。個々の状況に合わせて、柔軟に対応出来る様に検討していく。	1	医療行為の限界や職員の介護力、家族の協力体制、他入居者とのバランスなどあらゆる事が想定される中で、日々の健康を維持していく事の大切さを感じ、介護、医療の両面から知識を積み上げていくよう努めている。重度化に備え適宜マニュアルを見直すなど検討を重ねていく事が望まれる。スタッフ間で考えを統一する努力を今後も行っていく。
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅からホームへの入居の際は、心理的な援助をしっかりと行い、ゆっくりと生活に慣れて頂けるように配慮します。別の場所への転居の際も、情報提供を密に行い住み替えによるダメージを最小限に出来るよう努める。	1	住み替えに伴うリスクを見極め、必要な援助を提供できるよう工夫して行く。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8項目・外部評価 1 1項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0項目・外部評価 9項目	30	
		52	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3項目・外部評価 2項目	3	
			<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の際の羞恥心への配慮や、本人の好まない話題の把握、など、その方が大切にしていること、こだわっている事、嫌な事を知った上で、人格を尊重し本人の思いに添った対応を心がけている。	1	接遇研修は行っているが、更に職員の意識向上を図れるように努めたい。個人情報については、マニュアルを作成している。
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	具体的に、内容を示し、自己決定できる様な声かけに努めている。理解できる部分に差異があるので一人一人の個性に応じた対応を心がけている。	1	ご本人の思いを読み取り、自己決定出来る機会を出来るだけ多く取り入れ、ご本人の望む暮らしを支援して行く。自己決定し暮らしていく事の大切さを認識し、ケアに活かしていく。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や、気持ちに合わせて対応していく。本人の声に耳を傾け、又、言葉にならない表情や仕草からも本人本位の生活がなされているか常に、気持ちに沿った支援に努める。	1	今後も入居者の思いを聞き取る姿勢を持ち支援して行くことに努めます。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人の好みに応じた身だしなみを基本に、髪型や、化粧、髭剃りなど関心をもち続けていけるように支援している。理美容は訪問があり、ご本人やご家族の希望に応じていつでも利用可能です。ご本人が希望を伝えられない場合はご家族と相談し希望を伝えている。	1	今後も、個性を大切にした支援をおこなっていく。
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員と一緒に作った食事を同じ食卓で囲み、団樂の時間をとっている。外食に出かけたり、お弁当を作り、前庭で景色を眺めながら食事をとることもある。季節を肌で感じるメニューの中にそうめん流しや、収穫祭では自分達で作った作物で料理を作る等、食事を取るだけでなく、自分達で材料から作り、振舞う喜びも感じて頂いている。	1	今後も、食事を取るだけでなく、幅広く、食を通じて五感に刺激をもたらすことが出来る様な取り組みをしていく。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	セブンイレブンの訪問販売や、買い物に出かけた際、ご自由に買い物して頂いている。午後のおやつにされる方や、居室で好きな時間に食べられる方もおられます。喫煙を望まれる方はいない。誕生日やご本人にとって特別な日はその方の好物を用意してお祝いします。	1	嗜好の楽しみを満足させる事は気持ちが豊かになるものである。適量を考えつつ毎日取り入れていく。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居の際は排泄パターンやサインを記録しその方のペースを把握出来る様努めている。現在は排泄パターンや排泄サインが把握出来ているため記録表は作成してはいないが、排便の有無は日誌に記録し最終排便の把握は出来ている。なるべく自然な排泄をして頂くために、その方のパターンにあった誘導を行い、羞恥心に配慮して声かけを行っている。	1	継続的な支援を行い安心と清潔を守っていく。
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望に添った入浴が出来る様に、湯のはり方や、支援の仕方も配慮しています。又、様々な身体状況に適した浴室の環境整備を訪問看護師や、福祉用具専門員、職員と検討中です。今後、心身共に重度化してくる事が予測されるが、なるべくその人らしく入浴を楽しんで頂けるように努めている。	1	今後も、どのような環境や、支援があれば、楽しみや、習慣を継続していけるのかをご本人と共に話し合いながら、又、環境も整えながら支援していきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	年齢や、身体状況により一人ひとり疲れ方や睡眠時間も異なります。必要な時間に居室で休まれる方や、リビングで仮眠を取ったりと本人の希望によって休息の仕方は異なります。一人ひとりの体調に合わせ、活動内容も検討しながら調整しています。又、場合によっては記録しご家族、医師とも話し合い睡眠時間等も含め総合的に生活リズムを整えます。	1	今後も一人ひとりの状態に合わせた生活がなされるよう支援していく。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの趣味や習慣の継続が出来る様生活に様々なアクティビティや役割を取り入れている。農作業が好きな方が畑で作った野菜を調理好きな方が調理したり散歩中に摘んだ花で生け花をしたり地域の方と麻雀を楽しんだりと生活の中で個性が生きるような支援を心がけている。様々なイベントに参加したり戸外に出かけたりと気晴らしも図っている。	1	自己表現が難しくなってきた方でも、ご本人の言葉や活動中の表情、又、生活歴からも日々の生活に喜びや、楽しみのある生活を送っていただける支援へのヒントがあることを大切に、ご本人の思いに添った生活を支援していきたい。
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が出来る入居者は限られているが、買い物の際の支払いや、リハビリ、通院時の支払い、帳簿に記帳する際の計算など金銭を使う機会を提供し、その方に応じ支援している。	1	生活の中で、今まで行っていた当たり前の行為を思い出す、又、社会参加の機会を多く取り入れていきたい。
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	循環バスを利用して買い物へ出かけたり、行楽地や美術館などに、皆で出かけることもあれば、個別で食事に出かけたりと様々な形態で外出している。入居者より、鉄道記念館、天ぶら屋に行きたいという具体的な希望が出ているので、近日実施予定です。	1	今後も個々の希望を取り入れ、外出の企画を立て喜びに繋げていきたい。馴染みの場所や、思い出の場所を巡り、より心に響く外出を試みたい。
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者の子育て中のエピソードに出てくる機会の多かった事やここは中津ですか？と問いかけられる事も多い事からご家族と話し合い実際に中津に外出した。クリスマス話から、イルミネーション？と質問され街に出かけクリスマスの夜の街を体験した。毎年花火に娘と行くのを楽しんでいたが行けなかったので家族会で花火を企画し思い出を作った。	1	ご家族とも話し合いながら、普段は行けない様な場所や、思い出の場所へ行ける機会を作っていきたい。
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や、兄弟、知人と電話や手紙を通して、交流する機会がある。面会の少ないご家族には適宜電話を掛け、連絡を取り合っている。又、訪問にきた小学生と入居者が文通を通し交流を図っている。大切な方との交流の機会を失うことがないよう意図的に働きかけをしていくこともある。	1	継続した支援を行っていく。



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	入居者の作品を並べたり、入りやすい雰囲気作りを心がけている。足の遠のきがちなご家族へは、敷居が高くなるように、こまめに連絡を取り合うようにしている。訪問された際の挨拶や、お帰りになられる際の言葉掛けは心地の良いものが残るように気を配っている。対応に困っているご家族へは、さりげなく間を持つような配慮をしている。	1	出来る事を職員間で話し合いながら、必要に応じて家族の協力ももらっていく。
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	抑制廃止マニュアルに添った拘束の無いケアを実施している。リスクマネジメント研修や人権研修を行い、理解実践に活かしている。	1	身体拘束に対する認識を深め、正しい知識のもとに、支援していく。
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に呼び鈴は付いているが、日中鍵は掛けている。職員は所在確認に気を配り、ご本人の自由な空間で過ごして頂けるようにしている。好きな時間に散歩に出かける方もおられたが、現在は、心身の状態により一人での外出に危険が伴う状況もあり、希望される時は職員と一緒に外に出かけるようにしている。	1	鍵を掛ける事が、入居者にとって、どのような弊害をもたらすかを理解し、鍵を掛けない支援に取り組んでいる。
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個々に合った距離感を考えながら、見守りの位置を工夫している。夜間の巡視は安全確認には欠かせないものだが、ご本人にとって居室はリラックスできる空間でもある為、プライバシーの侵害にならないように又、巡視がストレスにならないように配慮している。	1	その日その時の身体や精神状態の違いを考慮した安全管理によって安心した暮らしを支えていきたい。
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常生活を営む上で、洗剤、包丁、針など危険を伴う物を使用する機会が多いが、こまめに片付けながら出しっぱなしにならないようにしている。又、注意の必要な物品に関しては鍵の掛かる場所で保管するようにしている。	1	危険の予知、入居者の状況を把握し、予測出来るリスクを回避出来るよう対応策を検討しながら関わっていく。
71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを作成し、事故が起きた際の対応策を共有している。又、個々の状況に応じて、知っておく必要がある事項については、医療研修などを通じて学びを深めている。事故を予測し、回避できる姿勢が取れるよう研修や実践で日々学ばず姿勢を大切にしている。	1	職員間で気付きを放置せず、その都度話し合いの場を設け、事故防止に努めていく。介護経験の長い職員や看護師からの意見を他の職員が謙虚に受け止め知識を深める努力をし、事故防止に繋げていく。定期的に実践に活かせる研修を行っている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命研修を実施し、急変や事故に備えている。急変時や、事故についてのマニュアルも作成し、日頃から確認を行い対応している。緊急時の連絡体制はスタッフルームに掲示し、速やかに対応出来るように備えている。又、災害時に備え水、米などを備蓄している。	1	緊急時、冷静にベストを尽くせるよう、イメージしてみて知識が不足している所は、専門職に学び克服しておくなど職員一人ひとりが意識を持ち取り組んでいく姿勢を引き出していく。
			73	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スタッフルームに災害時の手順書、避難経路を掲示している。定期的に消防署とも連絡を取り合い、対応策を検討し、訓練を実施している。	1	訓練したことが実際の災害時に活かせるかが重要である。定期の訓練だけでなく、日頃から入居者の現状に則した対策を考え合わせ、疑問点など出た場合関連機関に相談し指導を受け、備えておくことが必要と考える。
			74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	心身の状況は様々であるが、どの方にも、ご本人らしく暮らして頂く一方それに伴うリスクがある。支援内容についてご家族ともお話しする際、それに伴うリスクや、心身状況の変化に伴う今後の可能性等も含め、検討している。生活においての危険を全て排除するのではなく、状況に応じ、対応をかえている。	1	今後も、起こりうる事故やトラブルの可能性があれば、即時にご家族に連絡し、共に、対応策を検討していく。
			(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
			75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定、表情や顔色、声色なども常に意識し、観察している。職員のちょっとした気づきも朝の申し送り時に、伝達し、職員皆で意識し関わりを持っている。必要であれば訪問看護師、ご家族へ相談し、状態に合わせて早期対応に努め、変化や対応は看介護記録に記録し、ご家族や医師への情報提供につなげている。	1	心身機能の維持、安定は、生活の基本となるものなので、今後も早期発見、早期対応に努めていく。体調の変化などに全職員が気づきもてるように、研修に参加し、疾患への理解、対応などの知識も深めていきたい。
			76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新人職員には、個々の入居者の処方箋、現病歴と照らし合わせながら、疾患に伴いどのような薬を飲まれているかを説明する機会を設けている。又、心身の状況変化は、看介護記録に記録し、状態の変化やそれに伴いどのように薬など対応が変化したのかと流れを把握出来るようにしている。誤薬への防止策として三重のチェックを取り入れている。	1	心身の変化に伴い薬や対応も変化していく。現状に止まらず、その都度変化を記録し、ご家族、医師へ情報提供していく。
			77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食事、水分、適度な運動、腹部マッサージなどでなるべく自然な排便が見られるような働きかけを看護師などと相談しながら試みるが身体状況によっては下剤を服用し排泄を促す必要のある方もおられる。排便の状況や腹部を観察し医師、看護師と相談しながらその方の適量を服薬しているが薬だけに頼らず生活習慣等も見直している。	1	日々の暮らしを充実し、ご本人らしく過ごして頂く為には健康な状態を維持していく事が基本となり、食と同様排泄も健康状態に大きな影響をもたらすものであると考える。排便の状況を把握し、食事、水分などにも十分気を配り、必要に応じ服薬も検討し大きな疾患につながらないように努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っている。認知力の低下に伴い細かい部分まで磨きにくい方もいらっしゃるため、ご自分で磨かれた後、職員により、チェックすることもある。口腔内の異常や、義歯の調整が必要な方には、訪問歯科に相談している。定期的に口腔チェックを実施し、早期発見、早期対応に努めている。又、口腔体操も取り入れている。	1	健康な状態を維持する為にも口腔内を良い状態に保つ事の重要性は大きい。歯の痛みや、腫れで食欲が低下する事も多いので、口腔ケアにたいする意識を高めて行く。	
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分共に個々の、1日を通じた摂取量が把握出来るように、記録をつけている。水分をあまり取りたがらない方にも必要に応じ、水分摂取の大切さを説明し、個々の嗜好も取り入れ、必要量摂取して頂けるように工夫している。又、定期的に栄養課にて栄養アセスメントを実施し、結果報告の際、具体的に助言を頂き、日々の献立に活かしている。	1	今後もバランスの良い食事の提供を心がけ、美味しく、楽しく食事をして頂ける様に努めます。	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染委員会が設置されており、毎月グループホームの全体会議の中で、感染症などに関した勉強会を実施している。又、感染マニュアルも設置し、感染症に関する理解を促している。万一来、嘔吐物など速やかに処理出来るよう、必要な物品を備え二次感染防止に努めている。	1	継続し、感染に関する情報をキャッチし、対応を重ねていく努力が必要である。特に、早期発見、早期治療につとめていく。	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夜勤者が食材の賞味期限をチェックし、食品の保存管理を行っている。まな板や、包丁などは毎日ハイター消毒し、食器類は加熱乾燥している。食品を取り扱う際は、必ず手洗い、消毒するようにしている。。	1	今後も、職員一人ひとりが食中毒に関して意識を持ち、衛生管理に努めていく。又、基本である手洗い、消毒の徹底を継続していく。	
	2	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	5	
	2 生活環境づくり	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気兼ねなく出入りして頂けるように、玄関周囲に花を植え、季節に応じ植え替えをしている。ベンチを設置し、くつろげる空間を作り、入り口のれんはご家族が作ってくださったものです。	1	今後も季節に応じ、花を植えたり、玄関周囲のレイアウトを工夫していく。	
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自由に馴染みの家具や、小物など飾って頂いている。リビングや玄関には作品を展示したり、みんなで作った苔玉をあしらひ気分を癒し寛いで頂けるよう配慮している。リビングやダイニングの家具は入居者の状況に合わせて希望を取り入れながら配置している。	1	共同スペースは入居者にとって心地の良い空間であるよう、音や光、又、私たち職員も環境因子のひとつであることを自覚し関わっていく。	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイニングとキッチン間に仕切りがあり、ご本人の気分によって皆と一緒の場所でくつろいだり、お独りで読書をされたりとご自由に過ごしていただいている。	1	空間の大切さを認識し、独りになれる居場所作り、又、ほっと出来る空間作りに努めていきたい。	
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力により、自宅から、アルバムや使い慣れた家具、湯飲みなどご自由に持ってきていただき、落ち着いた空間になるよう心掛けている。入居者によっては自己作成した文集や書道作品、洋服などを置いている方もおられる。居室の雰囲気は個々の好みにより様々です。	1	居室の空間に新しくご自分で作られた作品を飾ったりお孫さんからのプレゼントを大切に飾られたりと、住み慣れて行く中で、居室の雰囲気も少しずつ変わって行く方もおられる。	
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	適宜換気を行い、匂いがこもらないように気を配っている。又、自然な風を取り入れ心地よい感覚を味わって頂いている。空調の噴出し口も微調整し、直接風が当たらないよう配慮している。	1	換気、室温調節については、今後もしっかり取り組んでいく。個々の心身の状態にも気を配っていききたい。体感で感じるものは、職員本意でなく入居者の視点に立った関わりをしていく。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能に合わせて、手すりをつけたり、ベッドの頭の位置を調整したり筆筒や道具を使用しやすい場所に設置するように工夫している。意外なものが障害になることがあるので、職員は気づきを出し合い検討している。	1	今後も心身の状況に応じ、検討し、安全の確保に努めていきたい。	
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	少しの変化でも思いがけない混乱や、不安のきっかけになることがある為、観察し考慮している。自立を妨げないようその方の状態に合わせた環境と活動の支援を行っている。居室入り口の思い出ボックススになじみの品を入れ、居室が確認出来る様にしている。	1	職員は固定観念にとらわれず、他職員とも活発に意見交換をし、多角的な視点から、出来る力を導き出し、工夫しご本人の力が発揮できる生活を構築していく。	
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物は緑に囲まれ、散歩や散策が日課となっている。ご自分の畑を持っている方もおられ、草とり、収穫と園芸活動を行っている。ベランダにはアサガオによる日よけや、プランターで野菜を育てたり、花を植えたり植物の成長を楽しんでいた。	1	広い庭のある環境の中で、四季折々の変化を五感に働きかけていきたい。植物を育てていく過程で、成長や収穫の喜びを味わい、押し花やフラワーアレンジメントなど自然を活用して生きる喜びに繋げていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	1			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。